

関西全体の航空需要拡大について考えるフォーラム

～関西経済の飛躍と空港への期待～

リージョナルジェットを活用したジェイエアの戦略について



2017年3月29日

株式会社ジェイエア

代表取締役社長 大貫 哲也



## リージョナルジェットを活用したジェイエアの戦略について

1. ジェイエア会社概要
2. 国内航空市場の現状と地方航空ネットワークの現状
3. 伊丹空港と地方ハブを活用したジェイエアの事業戦略
4. 地域に密着した需要喚起

# 1. 会社概要

---

- ジェイエアは大阪国際空港(伊丹)を拠点に「地域と地域を結ぶことでお客さまに喜んでいただけるネットワークをご提供する」ことを事業目的とするフルサービスキャリアで、国内線JAL便の約3割の便数を運航するJALグループの地方路線の主翼を担う航空会社です。
- JAL国内線事業の中でも唯一大きく事業規模を伸ばし、大阪国際空港(伊丹)、新千歳空港、福岡空港、東京国際空港(羽田)の4空港を発着する路線を中心に、地方ネットワークの拡充を図っています。そのため、50名乗りのCRJ200の退役に合わせ、エンブラエル170(76名乗り)およびエンブラエル190(95名乗り)を追加導入し、供給拡大とE190のクラスJなどの商品拡充も進めているところです。
- JALグループが2021年から、国産ジェット機MRJを導入する際には、ジェイエアがその運航を担う予定です。
- 本年度は会社設立から20周年という節目の年を迎えましたが、これからも地域とのつながりを大切に、「お客さまに最高のサービスを提供し、社会の進歩発展に貢献する」という企業理念の実現を目指します。

# 1. 会社概要

---

商号	株式会社ジェイエア		
事業内容	航空運送事業		
本社	大阪府池田市空港2-2-5		
資本金	2億円		
出資者	日本航空株式会社(100%出資)		
設立	平成8(1996)年8月8日		
営業開始	平成8(1996)年11月1日		
代表者	代表取締役社長	大貫	哲也
社員数	605名		
使用機材	ボンバルディアCRJ200型機(50人乗り)		5機
	エンブラエル170型機(76人乗り)		17機
	エンブラエル 190型機(95人乗り)		5機
			計27機

# 1. 会社概要(沿革)

- 1991年4月、「西瀬戸エアリンク」の後を引き継ぎ、  
ジャルフライトアカデミー(株)の事業本部として発足。  
機材はジェットストリーム・スーパー31型機(JS31)



JS31

- 1996年8月、JFAから独立し、株式会社ジェイエア設立。

- 2001年、50人乗りのCRJ200を導入。



CRJ200

- 2005年2月、本拠地を旧名古屋空港(現県営名古屋空港)に移転。

- 2009年2月、76人乗りのエンブラエル170を導入。



E170

- 2011年3月に大阪国際空港(伊丹)に本社を移転。

- 2016年5月よりE190の導入、6月よりCRJの退役を開始。



E190

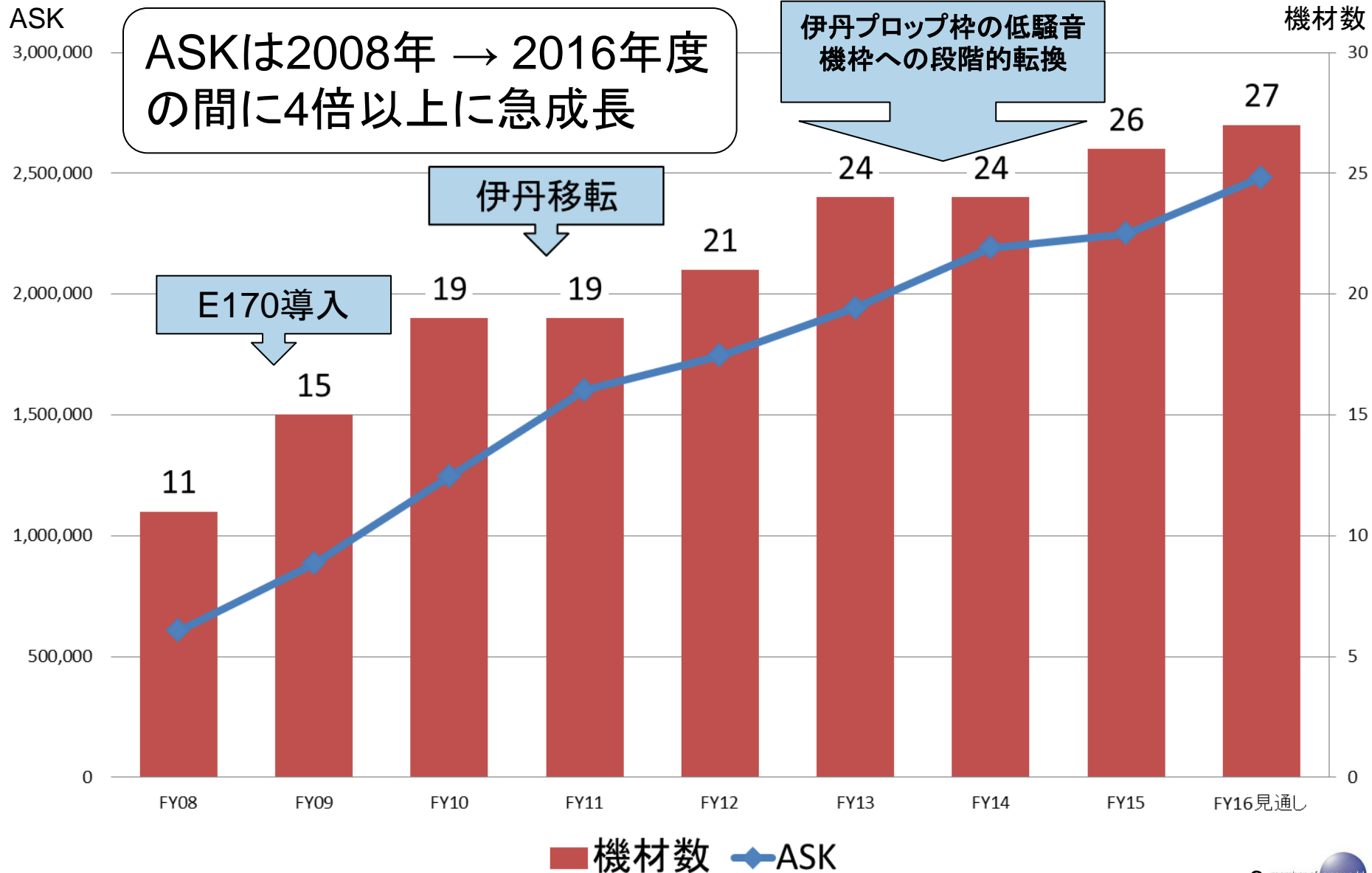
- 2017年3月現在の運航数は 23地点 31路線 190便/日

- 2021年よりMRJの運航を開始予定。



MRJ

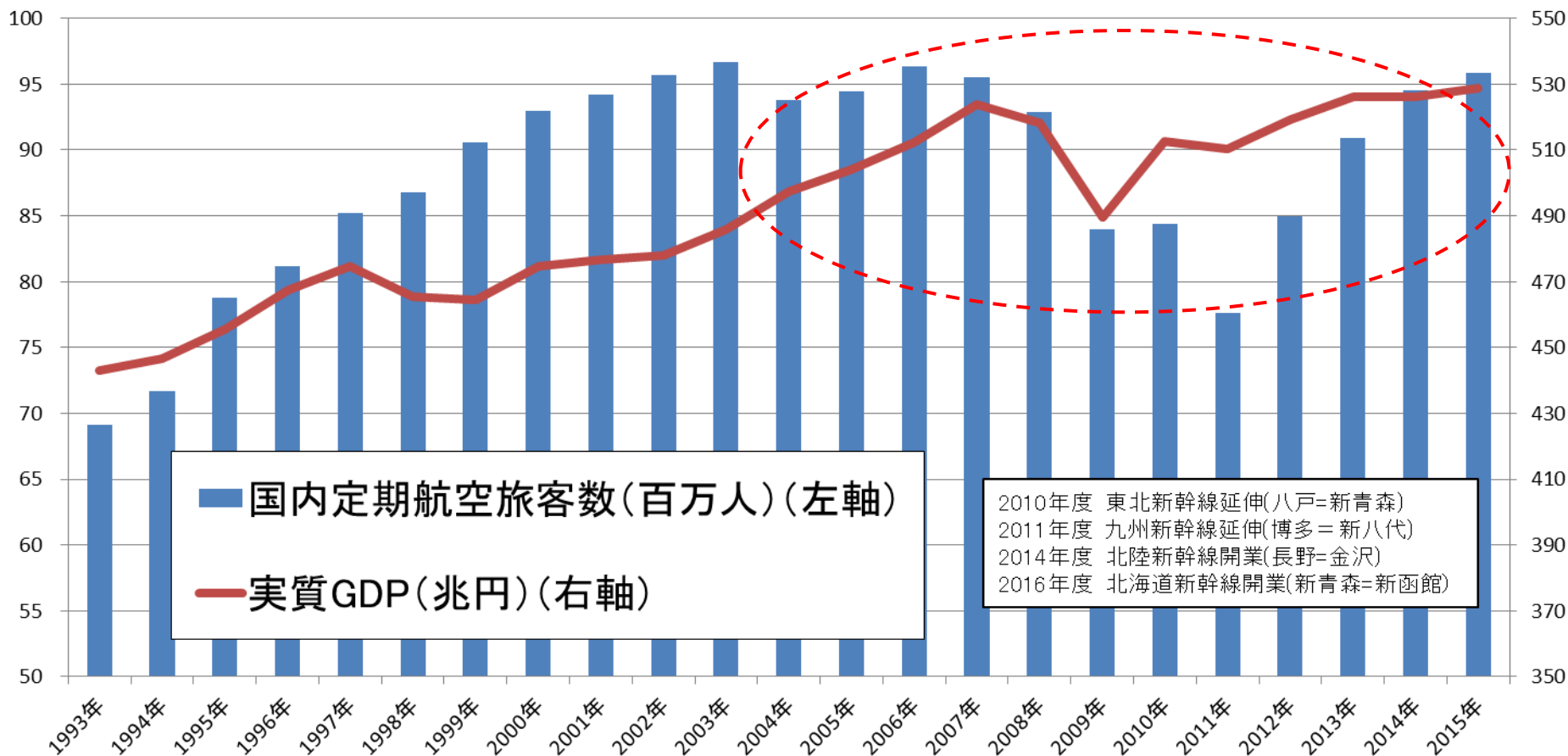
# 1. 会社概要（J-AIRの事業規模推移（機材数、ASK（千・座席キロ）））



## 2. 国内航空市場の現状と地方航空ネットワークの現状

# 国内航空市場の現状

バブル経済崩壊後の経済成長の鈍化、生産年齢人口の縮小、新幹線網の拡充などにより、国内航空市場の規模は横ばい状況。(リーマンショック、東日本大震災の影響により大幅に落ち込んだものの2012年(LCC元年)以降は回復基調。)

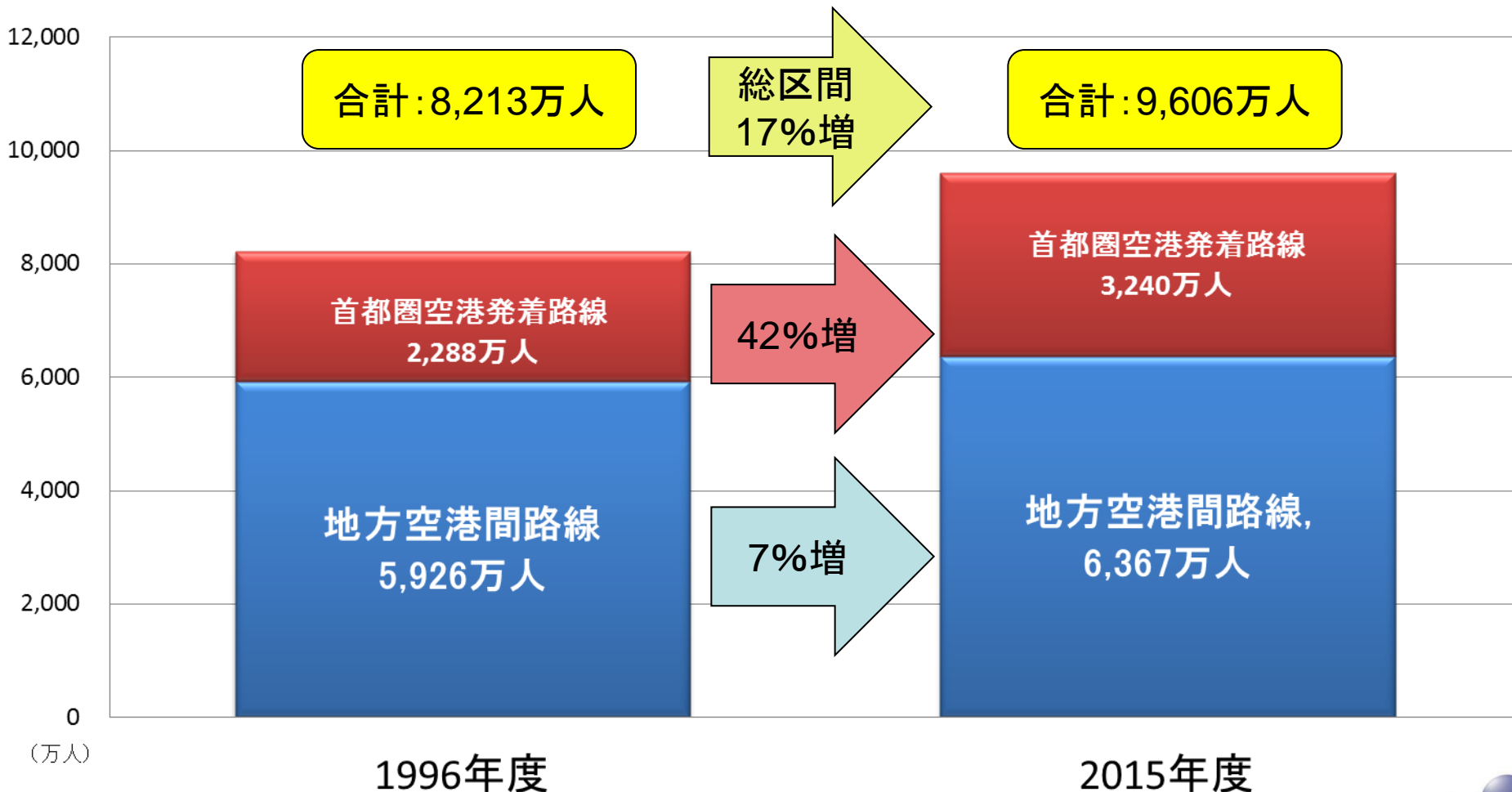


出典(旅客数/航空輸送統計年報、GDP:IMF World Economic Outlook Databases)



# 地方航空ネットワークの現状（地方空港間路線旅客流動）

空港間旅客流動データ(1996年度→2015年度)を比較すると、全空港間の総流動は17%増加しているが、主要因は首都圏空港発着路線での増加となっており、地方空港間流動は7%の伸びにとどまっている。



# 地方航空ネットワークの現状（小型機による運営の限界）

航空総需要の成長が鈍化する中、経済の首都圏一極集中、他交通モードの発達（鉄道、バス）などにより、地方間路線数は縮小している。JALグループもMD90など160席クラスの小型機で低需要の地方路線を運営してきたが、その限界を迎えることとなった。

## JALグループの首都圏以外の空港を結ぶ路線数

2009年度

**112路線**

（参考：首都圏36路線）

2016年度

**79路線**

（参考：首都圏36路線）

33路線  
約30%  
減少

運休路線例

新千歳=山形、松本、出雲

鹿児島=岡山、高松 など

小牧、神戸空港からの撤退

## 効率性

低需要路線の  
事業運営が可能



## 高品質

FSCダウンサイジングモデルを実現

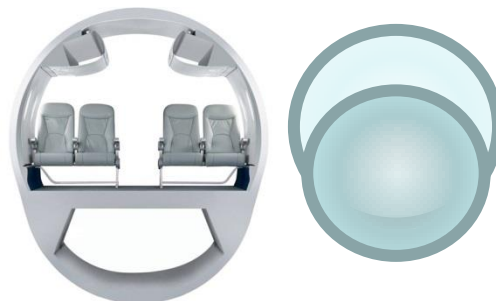


## J-AIR の位置 づけ

- 運航コストが低廉
- 短時間での便間業務が可能  
速度も大型機並みで多頻度  
運航が可能。

- 高高度の飛行が可能  
(揺れにくい)
- 機内空間の快適性  
(ダブルバブル構造)

- 地方路線の主翼を担う  
フルサービスキャリア



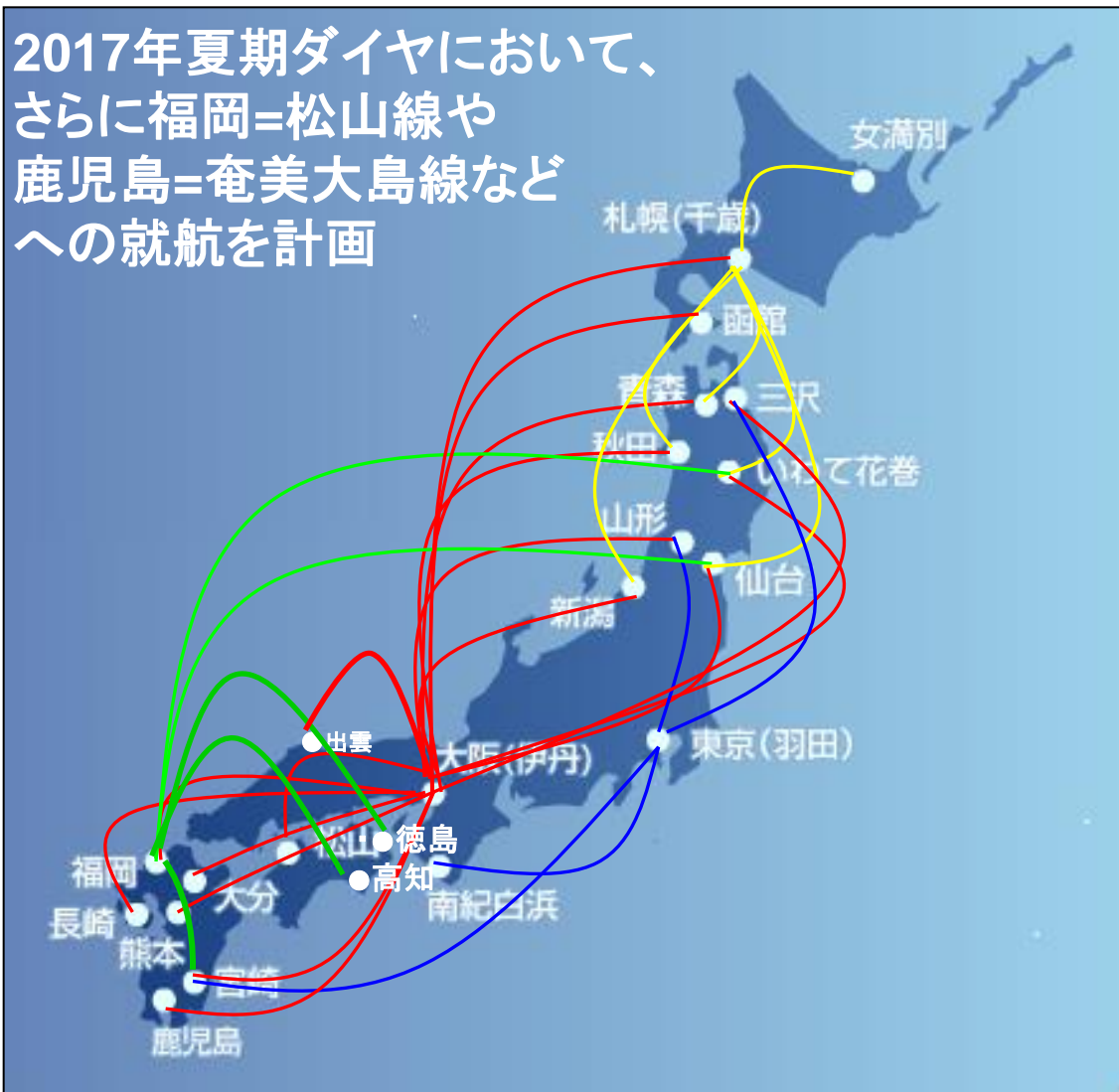
### 3. 伊丹空港と地方ハブを活用したジェイエアの事業戦略

# 現在のジェイエア路線ネットワーク

23地点、31路線、190便/日を運航(3月時点)

夏期繁忙期は伊丹=松本、伊丹=女満別も運航。

2017年夏期ダイヤにおいて、さらに福岡=松山線や鹿児島=奄美大島線などへの就航を計画



	羽田	伊丹	福岡	札幌
福岡		4		
(松本)		(1)*		
女満別		(1)*		3
函館		1		
三沢	1	1		
青森		3		3
秋田		3		2
新潟		4		3
山形	2	3		
花巻		4	1	3
仙台		7	2	5
白浜	3			
出雲		1		
松山		3		
徳島			1	
高知			2	
長崎		4		
大分		3		
熊本		3		
宮崎	1	5	7	
鹿児島		7		
合計	7	56	13	19

# 伊丹基地をフル活用したジェイエアの路線ネットワーク

伊丹空港の地理的優位性とリージョナルジェットのメリットを融合させた事業戦略を展開。

## ①全国各都市との距離

日本の中心に位置する大阪を基地とすることで、ユニットコストが割高となるリージョナルジェット機でも全国各地への多頻度運航が可能となり、高い収益性を確保することが可能。

<b>737</b>	羽田	25	鹿児島	15	25	00	羽田	45	35	35	10	55	25	10	30	羽田			
		641			642		647		648		439		440						
<b>E190</b>	伊丹	10	長崎	25	55	05	35	50	20	30	05	20	50	00	35	45	20	35	伊丹
		2371		2372		2373		2374		2375		2376		2415		2414			
		6		7		8		9		10		11		12		13		14	
				15		16		17		18		19		20		21			

羽田基地の737は6便、伊丹基地のE190は8便を運航可。

## ②乗継ぎ利便性

直行便運航が難しい小規模需要区間については、伊丹空港でのダイヤ調整により伊丹を経由地とした乗継ぎを可能とし、乗継ぎ割引運賃も設定することで航空ネットワークを維持。

# 伊丹ハブを活用した乗継ぎネットワーク例(羽田便のない経路)

出発地	経由地	到着地	乗継割引*
仙台	伊丹	鹿児島	○
07:35	08:55→09:15	10:25	25,700円
新潟	伊丹	鹿児島	○
08:50	10:00→10:35	11:45	25,200円
花巻	伊丹	大分	○
12:20	13:50→14:15	15:10	31,100円



\*割引は5月末ご搭乗分の最安値の運賃(乗継割引28)を表示

class J

## ひとつ上の乗り心地 日本のビジネスを支える存在へ

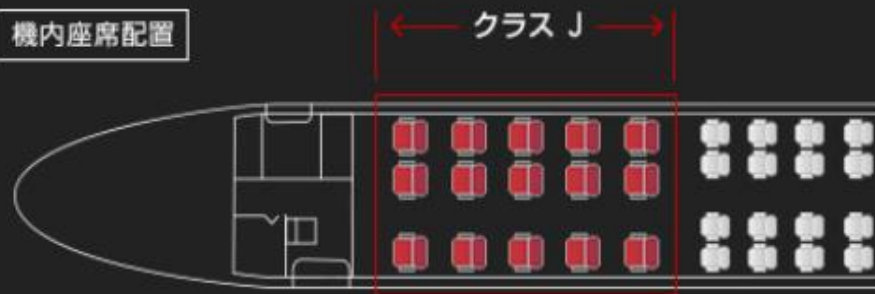
POINT  
1



### プラス1,000円で上質なフライトを クラス J 導入

ご好評の「クラス J」をJ-AIR路線で初めて導入！1名掛けと2名掛けの2タイプのお席をご用意。ビジネスにご旅行に、あらゆるシーンにお応えする配列です。☞ クラス J のご紹介

機内座席配置





class J

普通席

## スマートフォンの充電、ノートパソコンで資料作成、 バッテリーの消費を気にせずご利用いただけます

POINT

2



機内でスマホを充電

### 座席にユニバーサルPC電源を配備

座席にはユニバーサルPC電源を配備。機内でスマートフォンを充電したり、ノートパソコンで資料作成などを行う際にも、バッテリーの消費を気にせずご利用いただけ、大変便利です。



クラス J に設置されているユニバーサルPC電源

class J

普通席

## 高級乗用車や高級家具などに使われる本革を採用 なめらかな素材感により、やさしくスムーズな座り心地

POINT

3

高級感とすわり心地を追求

### 本革シート

普通席には、高級乗用車や高級家具などに使われる高品質な本革をシートに採用しました。柔らかで、なめらかな素材感により、やさしくスムーズにお座りいただけます。



# フルサービスキャリアとしての商品戦略(ビデオプログラム)

スマートフォンやタブレットなどお客さまご自身の端末でお楽しみいただける無料ビデオプログラムをE190/E170で提供開始。(E190は順次対象機材拡大中)



## 無料 コンテンツ



JALホームページ



フライト  
インフォメーション



るるぶ観光地情報

## 無料映像 コンテンツ



ビジネス



スポーツ



バラエティ



グルメ



ミュージック



アニメ



キッズ



JALチャンネル



英語チャンネル

## 4. 地域に密着した需要喚起

# 地域とのパートナーシップ(三位一体の連帯意識)

航空路線に関わるステークホルダーが協働し、需要喚起や利便性向上に向けた中長期的、段階的な取り組みにより、路線を育成することの重要性が各地で浸透。

空港施設  
拡充



## 地域

自治体、空港会社を含む  
地元

## 航空会社

## 利用者

航空利用者、観光業界を  
含む



需要喚起イベント



山形県

(共同リリース)

2016年1月20日  
日本航空株式会社  
山形県

## JAL 羽田=山形線 政策コンテスト枠による増便継続

～コンテスト枠利用路線で最高の評価を得て羽田発着枠の配分3年間延長～

日本航空株式会社(以下、「JAL」と)と山形県及び山形空港利用拡大推進協議会は、羽田空港発着枠政策コンテスト<sup>(\*)</sup>に共同提案として応募し、2014年3月30日から羽田=山形線を増便し朝夕2往復としておりましたが、2015年12月の有識者懇談会にて、羽田=山形線の取組が、唯一すべての有識者懇談会委員から「A」評価を受け、最高評価となりました。これを踏まえて国土交通省より、当該路線について羽田発着枠の3年間の延長配分(2016年3月27日より3年間)を受けました。2016年度以降も、この貴重な羽田空港政策コンテスト枠を活用させていただき、グループ会社のジェイ・エアにて羽田=山形線2往復の運航を継続します。

また政策コンテストの趣旨である「地域と航空会社のパートナーシップを通じた地方路線の維持・充実」に向けて、これまで各種取組を行ってきましたが、2014年度は提供座席数109,896席(前年比200.6%)に対し、旅客数は74,687人<sup>(\*\*)</sup>(前年比261.8%)と大幅増の約2.6倍、2015年度上期(4月から10月累計)は提供座席数64,689席(前年比100.1%)に対し、旅客数は49,334人<sup>(\*\*)</sup>(前年比111.8%)とさらに約1.1倍と大変多くのお客さまにご利用いただきました。

2016年度も、山形県及び山形空港利用拡大推進協議会は、ビジネス利用や国内観光のお客様の利便性向上等を図るとともに、JALのネットワークを活用することで、羽田空港での乗継を利用した訪日旅行者の誘致について、シンガポールに加え、タイ等にもターゲットを拡大して取り組んでいきます。また、JALでは2015年12月に新しく販売を開始した訪日外国人旅行者向け国内線新運賃「Japan Explorer Pass」<sup>(\*\*\*)</sup>を活用し、より多くの訪日外国人のお客さまにご利用いただけるよう努めていきます。

JALと山形県は、より一層の連携協力を強化し、羽田=山形線の活性化により、地域貢献に取り組んでまいります。



山形県

◆増便前から増便後の旅客数推移 (※4月～10月累計実績比較)



◆2016年度上期 羽田=山形線 スケジュール

東京(羽田) → おいしい山形				おいしい山形 → 東京(羽田)			
便名	運航機材	羽田発	山形着	便名	運航機材	山形発	羽田着
JL175	E70	8:10	9:55	JL174	E70	8:50	9:55
JL179	E70	17:30	19:05	JL178	E70	19:00	20:05

※ジェイ・エア(J-AIR)にて運航。運航機材はE70です。  
※スケジュールは予告なく変更される場合がございます。  
※この時刻表は概算です。

(\*)航空会社

(\*\*)有償運賃

(\*\*\*)訪日外国人向け

http://www.jal.com

参考:羽田=山形線

http://www.jal.com

羽田=山形線では地域と密着した需要喚起の取り組みにより、旅客数を2.6倍→1.1倍とすることができ、最高評価を得たことにより、2016年から3年間の発着枠の延長配分を受けた。

空港  
YAMAGATA

課長補佐(航空担当) 佐藤  
TEL:023-630-3086  
(報道監 企画課業務次長 中山)

\*航空会社の自助努力のみでは路線の維持・充実が困難な路線について、地域と航空会社による路線充実に係る共同提案について評価を行い、優れた提案の路線に対して羽田空港国内線発着枠を配分するもの。

## I 羽田～南紀白浜路線に係る取組実績概要

### 1. 取組目標

#### ○取組方針

- ・首都圏、欧米等で、和歌山県のポテンシャルを活かした誘客策
- ・地元の少子高齢化・人口減少に対応した誘客

#### ○取組目標とターゲット

- ・世界遺産「熊野古道」等の観光資源を活かした首都圏、欧米からの誘客
- ・二次交通対策
- ・介護帰省利用者の誘客

(目標設定) 平成26年度 搭乗者数:102,000人  
 平成27年度 搭乗者数:104,000人  
 平成28年度 搭乗者数:106,000人

### 2. 対象路線の課題

- ・空港周辺は後背地人口が少なく、少子高齢化・人口減少が進んでいる地域であるため、今後地元客の利用減少が懸念
- ・当地は熊野古道などの観光が主要産業であるがLCCが各地に就航するなか国内外との競争が激化しており、路線維持が厳しい状況

### 3. 実績概要及び目標の達成状況

・プロジェクト実施後の平成27年1月から月別旅客数の増加が顕著に現れはじめ、平成27年1月～10月までの旅客数は対前年比で、16,859人の増加、21%増の計96,779人となった。

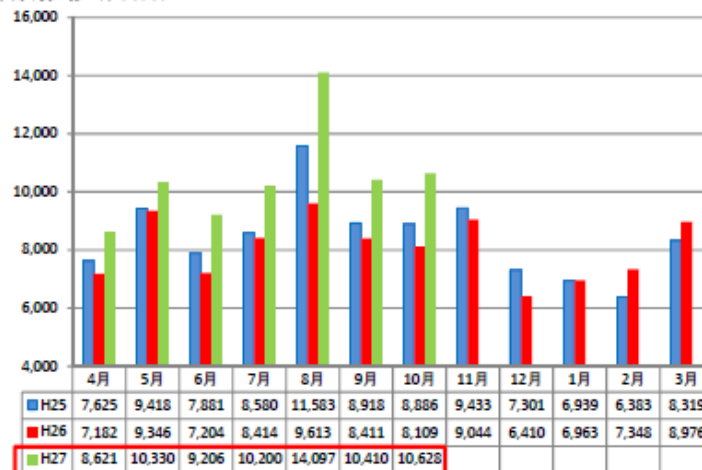
・個々の取組を検証すると、世界遺産「熊野古道」をはじめとする観光資源を活かした取組による首都圏からの誘客による旅客増が最大の要因。

・昨年12月の双子パンダの誕生、JALによる夏季における機材の大型化や特便割引の期間延長も外部要因となり、相乗効果をした。

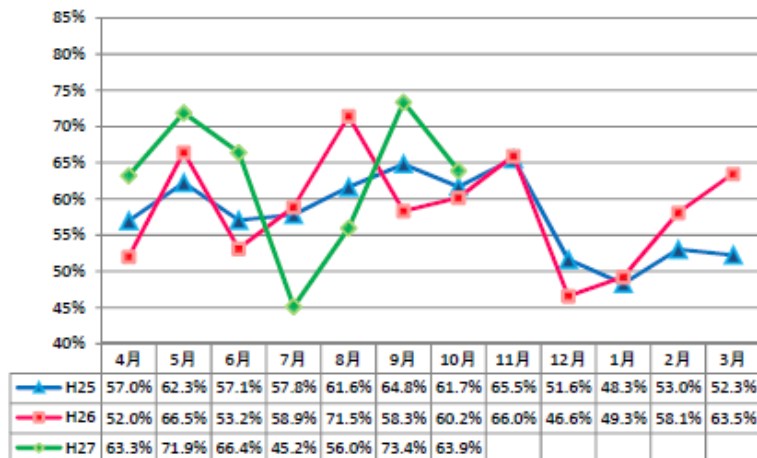
・平成27年10月には「紀の国わかやま国体」の開催、12月はJALによる特便割引の期間拡大という外部要因もあることから、今後順調に推移すれば、平成27年度の搭乗者数は109,000人程度を達成する見込みであり、当初の目標設定より、大幅増加の数値に達する見込み。

### 4. 旅客数・座席利用率

#### 旅客数推移(月別)



#### 座席利用率推移(月別)



## I 但馬一伊丹路線に係る取組実績概要

### 1. 取組目標

3年間で、ターゲット70(年間平均座席利用率70%、旅客数32,000人(H25年度比3,000人増))を達成。

首都圏からの観光客、外国人観光客(東京からの乗継利用者)にターゲットを当てる。

	平成25年度	搭乗者数: 28,726人(実績)
(目標設定)	平成26年度	搭乗者数: 30,000人
	平成27年度	搭乗者数: 31,000人
	平成28年度	搭乗者数: 32,000人

### 2. 対象路線の課題

#### <必要性>

- ・当該路線は、但馬空港から伊丹空港まで40分、羽田空港までは伊丹空港で乗り継いで最短約2時間で行くことができる但馬の貴重な高速交通基盤。
- ・地域住民の利便性確保、地域経済の活性化にとって、今後も当該路線の維持は必要。

#### <課題>

- ・但馬地域の認知度向上による航空機利用促進
- ・外国人に対する但馬空港の認知度向上
- ・空港から目的地までのアクセス改善
- ・伊丹発便欠航時のサポート
- ・地元住民の航空機利用促進

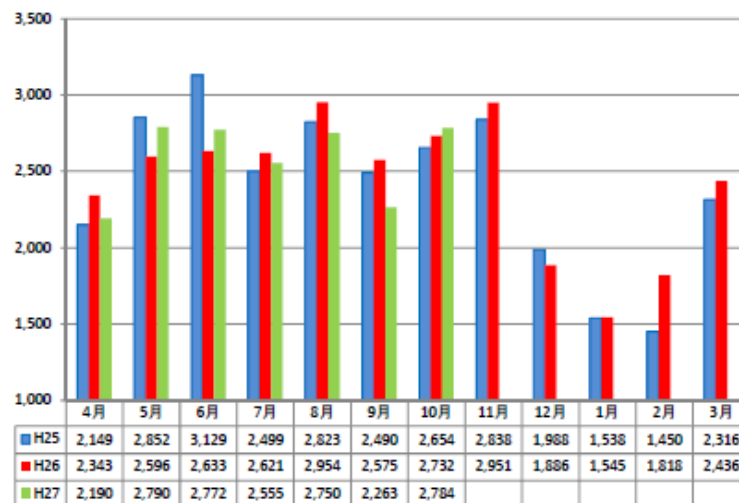
### 3. 実績概要及び目標の達成状況

平成26年度の旅客数実績は29,082人で前年度比356人増加。目標(前年度比1,000人増)を下回ったが過去2番目の旅客数となった。外的要因として就航率の悪化(前年度比0.9%減)、4月の消費税アップ及び燃料費高騰による運賃改定(約12%アップ)があげられる。しかし、プログラム開始後の9月~3月は、殆どの月が旅客数、座席利用率とも前年度を上回り、前年比661人の増と取組の成果があった。

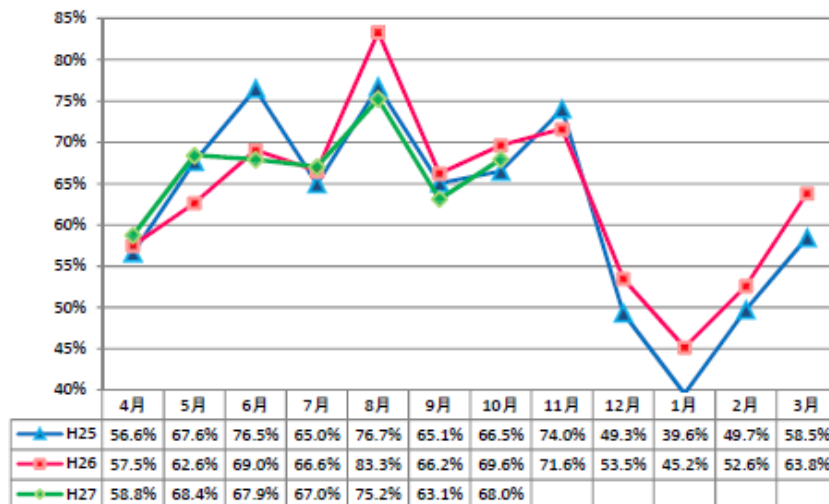
平成27年度の10月末旅客数実績は、就航率の悪化(1.2%減)や地元旅客の伸び悩み(1,000人減)により平成26年度より347人減少している。しかし、キャンペーン等の実施により、但馬外の旅客が増加し、午前伊丹発便午後但馬発便の旅客数は平成26年度より136人の増となり、当プログラムの効果が出ている。

## 4. 旅客数・座席利用率

旅客数推移(月別)



座席利用率推移(月別)





# 地域とのパートナーシップ(地元に着した活動)



## 青森ねぶた

東北地区  
明日のつばさ



## 岩手さんさ



## 山形花笠

# 地域とのパートナーシップ(地元に着した活動)

ラジオに出演し  
伊丹=松本線PR



熊本火の国祭り



伊丹空港空の日  
飛行機と綱引き



学校では受け  
られない授業



# ご清聴ありがとうございました



## E190初号機受領